

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号	C-4-7 (間接補助)
事業名	被災地域農業復興総合支援事業 (農業用施設整備等)
事業費	総額 1,942 千円 (国費:1,456 千円) (内訳: 機械整備費 1,942 千円)
事業期間	平成 24 年 7 月～平成 24 年 9 月
事業目的・事業地区	<p>地震で被災した畜産農家 4 戸の内、再建できた農家は 1 戸のみ。畜産経営を継続するにあたり、冬期間の積雪に対応した 2 階建ての飼料庫が必要となる。飼料庫は人力での搬入はほぼ不可能である事から、飼料庫 2 階の高さに対応したハイマスト付きフォークリフトを購入し経営維持を図る。また、牛糞は村堆肥センターでの重要な完熟堆肥の原料となっており、地域資源である良質堆肥を利用した土づくりにより、村農産物の高付加価値化を図る。</p>
事業結果	<p>被災による畜産業の衰退を防ぎ、畜産経営の継続と、人力作業の軽減により導入した資料運搬車により現在も 300 頭以上の黒毛和牛の生産が行われている。 飼料運搬車 (妹木地区 ハイマスト付きフォークリフト (3 段マスト揚げ高 4500mm))</p> <p>(被災した飼料庫及び牛舎)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(整備したハイマスト付きフォークリフト)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div> </div>

事業の実績に関する評価

① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

導入したフォークリフトにより、平均2m以上の積雪対策のための4m以上の飼料庫（1階は牛舎）に1トンになる飼料を直接機械作業により納入・搬出が可能となり、A5ランクの黒毛和牛の生産が続いている。

② コストに関する調査・分析・評価

入札による売買契約書を締結したため、事業費は適切であったものとする。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

ハイマスト仕様とすることで、2階部分への飼料の搬入が容易となり、作業効率の向上が図られたことから事業手法は適切であったとする。

また、事業期間について予定通り進めることができた。

事業担当部局

栄村役場 農政課 電話番号：0269-87-3113